

《情報公開文書》

長崎大学病院の肝移植患者における
サイトメガロウイルス感染再治療の必要性を予測する因子に関する
後方視的検討

研究の概要

【背景】

臓器移植をおこなった患者さんは免疫が抑制された状態となり、さまざまな感染症にかかりやすくなります。サイトメガロウイルス感染症はその一つです。サイトメガロウイルス感染症の検査は検査結果判明までに時間がかかるため、診断が遅れることで適切な治療開始が遅れることがあります。また、治療をおこなった後も再発を繰り返すことがあり、治療に難渋することも多く経験します。しかし、サイトメガロウイルス感染症を繰り返す患者の特徴、繰り返し発症する要因、予後については十分に解明されていません。

【目的】

肝臓移植手術を受けサイトメガロウイルス感染を起こした患者さんについて、繰り返しサイトメガロウイルス感染の治療が必要となる要因を明らかにします。

【意義】

肝臓移植手術を受けられる患者さんの、術後サイトメガロウイルス感染の早期発見・治療、適切な抗ウイルス薬投与が可能になることが期待されます。

【方法】

本研究では、長崎大学病院の診療録から情報を収集します。肝臓移植手術を受けた後にサイトメガロウイルス感染を起こした患者さんの治療回数、背景・臨床情報を電子カルテから収集し、繰り返し治療が必要となる要因、予後について解析します。

対象となる患者さん

以下①-③の基準を全て満たす患者さん、および④に該当する患者さんを対象としています。

① 2008 年 1 月 1 日から 2023 年 9 月 30 日までに長崎大学病院で肝臓移植手術を受けられた方

② 移植手術日以降の検査で、サイトメガロウイルスが検出された方

③ サイトメガロウイルス感染の治療をおこなった方

また、この研究では肝臓を提供したドナーについても、サイトメガロウイルスに対する抗体の情報を調べます。

④ 上記①～③の基準を満たす方に肝臓を提供したドナーでサイトメガロウイルスに対する抗体が測定されている方

研究に用いる情報

本研究は通常診療で得たカルテ情報を用いて実施する研究です。患者さんの背景、肝臓移植手術日、血液検査、臨床検査情報、情報評価時点の予後についてカルテ情報で確認します。 本研究で利用する情報について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。	
情報の利用開始予定日	
本研究は 2024 年 4 月 23 日より「研究に用いる情報」を利用する予定です。	
あなたの情報をこの研究に使われたくない方は下記の「問い合わせ先」までご連絡頂ければ対象者から外します。その場合もあなたの治療等に不利益になることはありません。 ご連絡のタイミングによっては対象者から外せない場合もあります。 あらかじめご了承ください。	
研究実施期間	
研究機関長の許可日～2025 年 12 月 31 日	
研究実施体制	
研究責任者	所属：長崎大学病院 感染症医療人育成センター 氏名：井手昇太郎 住所：長崎県 長崎市 坂本 1-7-1 電話：095-819-7506
情報の管理責任者	長崎大学病院 病院長
問い合わせ先	
【研究の内容、情報等の利用停止の申し出について】 長崎大学病院 感染症医療人育成センター 井手昇太郎 〒852-8501 長崎県長崎市坂本 1 丁目 7-1 電話：095-819-7506 FAX：095（849）7507	
【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く） 苦情相談窓口：医療相談室 095（819）7200 受付時間：月～金 8：30～17：00（祝・祭日を除く）	